

令和5年度

全国学力・学習状況調査結果の概要について

山梨県教育委員会

1 調査の概要

(1) 実施日 令和5年4月18日(火)

(2) 目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・上記のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3) 調査事項

①教科に関する調査(国語、算数・数学、英語〔中学校〕)

※中学校英語は4年ぶり実施(前回調査は平成31年度)

「話すこと」に関する調査は、1人1台端末等を用いたオンライン方式により実施

- ・出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

ア)身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

イ)知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記ア)とイ)を一体的に問うこととする。

②学習環境や生活の諸側面等に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査及び学校に対する調査

(4) 対象 小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年の全児童生徒

(5) 県内(公立学校)の実施状況

	公立小学校	特別支援学校 小学部	公立中学校	特別支援学校 中学部	合計
学校数 (分校含む)	165校	2校	80校	3校	250校
児童生徒数	5,911人		5,732人		11,643人

2 結果の概要

(1) 教科に関する調査

○令和5年度教科別調査結果（平均正答率及び平均正答数）

全体的に見て、全国平均正答率との差が±3ポイント以内であり、大きな差は見られない。

〈小学校〉

国語、算数において、全国平均正答率を下回ったが、国語においてはその差が前回調査より縮まった。

〈中学校〉

国語において、全国平均正答率を上回る結果を維持しており、数学、英語においては、全国平均正答率を下回った。

令和5年度 本県の調査結果（公立）

	小学校調査		中学校調査		
	国語	算数	国語	数学	英語
平均正答数（本県）問	9.3/14	9.8/16	10.5/15	7.5/15	7.3/17
平均正答数（全国）問	9.4/14	10.0/16	10.5/15	7.6/15	7.7/17
平均正答率（本県）%	66	61	70	50	43
平均正答率（全国）%	67.2	62.5	69.8	51.0	45.6
全国平均正答率との差	-1.2	-1.5	0.2	-1.0	-2.6

令和4年度 本県の調査結果（公立）

	小学校調査		中学校調査		
	国語	算数	国語	数学	英語 (平成31年度)
平均正答数（本県）問	8.9/14	9.9/16	9.8/14	7.1/14	11.6/21
平均正答数（全国）問	9.2/14	10.1/16	9.7/14	7.2/14	11.8/21
平均正答率（本県）%	64	62	70	51	55
平均正答率（全国）%	65.6	63.2	69.0	51.4	56.0
全国平均正答率との差	-1.6	-1.2	1.0	-0.4	-1.0

※県平均正答率については、平成29年度から整数値で公表（全国共通）しているため、実際の差との数値が異なる場合がある。

※後日実施した学校のデータは、全体の集計からは除外されている。（全国共通）

※国立教育政策研究所の令和5年度全国学力・学習状況調査報告書には、「全ての都道府県・指定都市が平均正答率の±10%の範囲内であり、大きな差は見られない。」と表記されている。

※中学校英語に関する調査について

・調査結果は、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の合計を集計している。

- ・「話すこと」については、1人1台端末等を用いたオンライン方式により実施し、文部科学省が指定する一部の学校（当日実施校）で実施した結果から全国値を推定し公表しており、調査結果には含まれておらず、都道府県別、指定都市の公表は行われたい。

英語「話すこと」に関する調査の結果（当日実施校の結果から推定される全国値）
 平均正答数 0.6問/5問 平均正答率 12.4%

（2）質問紙調査

①児童生徒質問紙調査

○児童生徒質問紙調査においては、これまで肯定的な回答が多かった、学習に対する興味関心・規範意識・自己有用感・生活習慣に関する項目について、全国平均と比べて引き続き高い傾向にある。

- ・児童生徒共通して、「国語の勉強は好きだ」等、国語・算数（数学）・英語の学習に対する興味関心に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 +2.2 ポイント(山梨 84.7% 全国 82.5%) <R4 山梨 84.8% 全国 82.6%>
 中 +0.2 ポイント(山梨 75.6% 全国 75.4%) <R4 山梨 78.0% 全国 75.3%>

- ・児童生徒共通して、「人が困っている時には進んで助ける」「人の役に立つ人間になりたい」等の規範意識に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 +1.1 ポイント(山梨 95.9% 全国 94.8%) <R4 山梨 95.0% 全国 93.6%>
 中 +1.9 ポイント(山梨 94.6% 全国 92.7%) <R4 山梨 95.0% 全国 93.3%>

- ・児童生徒共通して、「自分にはよいところがある」「将来の目標を持っている」等の自己有用感に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 +2.3 ポイント(山梨 87.2% 全国 84.9%) <R4 山梨 84.7% 全国 82.1%>
 中 +3.0 ポイント(山梨 80.9% 全国 77.9%) <R4 山梨 81.1% 全国 77.5%>

- ・児童生徒共通して、「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」等の生活習慣に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 +2.5 ポイント(山梨 91.0% 全国 88.5%) <R4 山梨 91.0% 全国 88.8%>
 中 +1.3 ポイント(山梨 88.1% 全国 86.8%) <R4 山梨 89.3% 全国 88.0%>

※前年度よりも改善が見られた主な項目

○児童生徒共通して、「5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか【週3回以上】」という調査項目で、今年度、小学校では 1.1 ポイント、中学校では 6.7 ポイント全国平均を上回る結果となり、前年度より使用する割合が高くなった。

小 +1.1 ポイント(山梨 63.5% 全国 62.4%) <R4 山梨 54.7% 全国 58.2%>
 中 +6.7 ポイント(山梨 67.8% 全国 61.1%) <R4 山梨 50.3% 全国 50.9%>

②学校質問紙調査

○学校質問紙調査においては、生徒指導、教職員の資質能力の向上、ICT を活用した校務の効率化に関する項目について、全国平均を上回った。

- ・小学校中学校共通して、生徒指導に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 +1.1 ポイント(山梨 92.8% 全国 91.7%) <R4 山梨 92.5% 全国 91.7%>

中 +0.8 ポイント(山梨 96.0% 全国 95.2%) <R4 山梨 98.5% 全国 96.6%>

- ・小学校中学校共通して、教職員の資質能力の向上に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 +4.1 ポイント(山梨 94.6% 全国 90.5%) <R4 山梨 90.2% 全国 85.8%>

中 +7.8 ポイント(山梨 94.3% 全国 86.5%) <R4 山梨 90.3% 全国 81.4%>

- ・小学校中学校共通して、ICT を活用した校務の効率化に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 +0.4 ポイント(山梨 97.6% 全国 97.2%) <R4 山梨 90.2% 全国 85.8%>

中 +0.2 ポイント(山梨 97.0% 全国 96.8%) <R4 山梨 90.3% 全国 81.4%>

○学校質問紙調査においては、家庭や地域との連携等、小学校教育と中学校教育の連携に関する項目について、全国平均を下回った。

- ・小学校中学校共通して、家庭や地域との連携等に関する項目で、前年度よりも改善が見られるものの、依然として全国平均を下回っている。特にコミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の仕組みを生かした取組に関しては、今後も継続して改善に取り組む必要がある。

小 -0.2 ポイント(山梨 77.2% 全国 77.4%) <R4 山梨 73.1% 全国 74.2%>

中 -10.1 ポイント(山梨 66.2% 全国 76.3%) <R4 山梨 63.9% 全国 74.9%>

- ・小学校中学校共通して、小学校教育と中学校教育の連携に関する項目で、前年度より改善が見られるものの、すべての項目で全国平均を下回っており、特に中学校における取組状況の改善を図る必要がある。

小 -2.2 ポイント(山梨 55.3% 全国 57.5%) <R4 山梨 45.8% 全国 48.5%>

中 -10.7 ポイント(山梨 52.2% 全国 62.9%) <R4 山梨 50.2% 全国 55.6%>

※前年度よりも改善が見られた主な項目

○小学校中学校共通して、「前年度までに、児童（生徒）一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を、授業でどの程度活用しましたか【週3回以上】」という調査項目で、前年度より改善が見られた。

小 -3.8 ポイント(山梨 86.8% 全国 90.6%) <R4 山梨 80.3% 全国 85.1%>

中 +2.4 ポイント(山梨 89.1% 全国 86.7%) <R4 山梨 88.0% 全国 81.2%>

3 令和5年度の学力向上に向けた取組

《年間を通じた取組》

1 学力向上総合対策事業の推進

- 学力向上推進事業（学力向上対策会議、学力向上フォーラム、学力向上キャラバン）
- 山梨県学力把握調査事業（中2国数英）
- 学力向上支援スタッフ配置事業、スクール・サポート・スタッフ配置事業
- 英語教育改善プラン推進事業
- 教科担任制推進事業
- 新たな学びの姿に向けた授業改善推進事業
- 家庭学習習慣化促進事業
- 若手教員グロースアップ事業
- 教育DX推進に向けた人材育成事業
- 中学生のためのDX学習プログラミング体験事業

2 やまなしスタンダードの推進

- ・「やまなしスタンダード～授業づくりの7つの視点～」のもと、県全体での授業づくりの取組の推進

3 地域の実態に応じた取組の実施

- ・地域学力向上推進幹を中心とした、各地域の特色や課題に焦点を当てた学力向上対策の推進

4 指導主事による学校訪問

- ・市町村、学校毎の状況を把握し、指導改善の取組の周知・徹底

5 県内市町村におけるコミュニティ・スクールの拡大・充実

- ・国の補助金事業や「CSマイスター派遣事業」等の活用、担当指導主事による要請訪問等を通じたコミュニティ・スクールの円滑な設置の支援
- ・文部科学省主催「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」開催についての周知

《調査実施後の取組》

6 県教委による採点及び各種説明会を通じた早期の授業改善の推進

- ・自校採点の方法等についての資料を校務支援システムにて配付（各校の課題把握のための自校採点を促し、課題克服に向けた早期の授業改善につなぐ）
- ・小中学校の答案を総合教育センター指導主事（小・中・高）が採点し、課題の見られた問題を基に、授業改善に向けた資料を作成し配付
- ・誤答から考えられる課題と、課題克服に向けた授業改善のポイントをまとめた冊子の配付、早期の授業改善を促進
- ・授業改善のための組織的な対応を促すため、全国学力・学習状況調査の早期採点の結果を踏まえた「授業改善・充実に向けた説明会Ⅰ」をオンラインにて開催（小・中同日：5月31日）

《結果を踏まえた今後の取組》

7 「学力向上フォーラム2023」の開催

- ・全国学力・学習状況調査より明らかになった課題、学校での学習と学力向上対策等についての指導主事による説明
- ・大学の教授を講師に招聘して、「ICTの最大限の活用により全ての子どもの主体的な学びを保障する」をテーマにしたグループ・ディスカッション、実践発表及びワークショップの実施

8 学力調査の分析結果を反映させた説明会の実施

- ・本県児童生徒の学力調査における実態と課題を共有するため、各種学力調査（全国学力・学習状況調査、山梨県学力把握調査、山梨県教育課程実施状況調査）の結果を踏まえた「授業改善・充実に向けた説明会Ⅱ」をオンラインにて開催（小・中同日：8月29日）
- ・各種研修会や学校要請訪問の中で、分析結果をもとにした授業改善の取組を説明

9 ICTを活用した指導の充実に向けた組織的な取組

- ・効果的なICT活用の在り方について学習する研修会の開催
- ・全国学力・学習状況調査のICTに関わる問題についての説明
- ・教育課程研究会の成果物の周知
- ・個人用端末を用いた家庭学習につなげられる学習教材の作成・配信

10 「授業改善のPoint」の冊子の作成・配付

- ・授業改善に向けた取組を推進するため、全国学力・学習状況調査、山梨県学力把握調査、山梨県教育課程実施状況調査を踏まえた授業改善の冊子を小学校4教科(国・算・社・理)、中学校5教科(国・数・英・社・理)で作成し、各校に配付
- ・校務支援システムのキャビネットからダウンロードできるようにし、各校へ周知
- ・指導主事による学校訪問等での周知・徹底

11 学級経営の充実に向けた取組を引き続き県全体で推進

- ・児童生徒が所属感、自己有用感を持つことができるよう、集団としての意見をまとめたり、個人として問題解決に向けた目標や方法・内容等を決定したりする活動を引き続き県全体で推進

12 「ピックアップ問題」の作成と配信・活用促進

- ・全国学力・学習状況調査の結果を受け、課題が見られた問題をピックアップ問題としてまとめ、校務支援システムのキャビネットからダウンロードできるようにし、各校での活用を促進
- ・全国学力・学習状況調査のCBT化を踏まえ、ピックアップ問題と併せてMEXCBT（メクビット）の活用を促す取組の実施

※MEXCBTは、文部科学省が開発した、児童生徒が学校や家庭において、学習やアセスメントができるCBTシステム。

1. 各教科の概要

以下の3つの視点から分析を行った。

- 正 正答率が高いまたは低い主な設問
- 差 全国の正答率と差が見られる主な設問
- 経 経年比較で成果や課題が見られる主な設問

小学校

教科	よくできている設問 (○) 課題がある設問 (△)		正答率 (%)		調査結果のポイント
			山梨県	全国	
国語	○ 正 経	相田さんが選んだ【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する [2]一]	90.7	90.0	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。
	△ 正	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く [1]二]	26.4	26.7	図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。
算数	○ 正	椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く [1]2]	87.9	88.5	伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができる。
	△ 正	テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く [2]4]	18.4	20.8	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうか課題がある。

中学校

教科	よくできている設問 (○) 課題がある設問 (△)		正答率 (%)		調査結果のポイント
			山梨県	全国	
国語	○ 正 差	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く〔1〕四	85.7	82.5	聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができる。
	△ 正 経	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く〔4〕三	50.5	50.0	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題がある。
数学	○ 正	はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める〔6〕(1)	88.3	88.9	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。
	△ 正	2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する〔9〕(1)	31.9	32.1	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することに課題がある。
英語	○ 正	環境問題について書かれた英文を読み、事実と考えを区別し、考えが書かれている英文を選択する〔5〕(2)	64.7	64.5	「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができる。
	△ 正 差	メール文を読んで、その間違いに気づき、「相手の行動を促し、依頼する英文に書き直す〔9〕(2)	22.8	29.0	言語の働きを理解し、目的や場面・状況に応じた表現を正確に書くことに課題がある。

2. 生活習慣や学習環境等に関する調査の本県の結果

【質問内容の番号は各質問紙の設問番号を表す】

(1) 児童生徒質問紙調査

※肯定的な回答の割合が比較的高い項目

<上段：本県回答率 下段：全国平均との差>

<数値は肯定的な回答をした児童生徒の割合を表す>

質問項目		小学校	中学校
①学習に対する興味・関心や授業の理解度等：国語・算数（数学）・英語の12項目の平均		84.7%	75.6%
		2.2	0.2
①-1 国語に対する興味・関心や授業の理解度等：4項目の平均		86.2%	83.5%
		2.6	2.9
(43) (47)	国語の勉強は好きですか	65.5%	64.2%
		4.0	2.8
(44) (48)	国語の勉強は大切だと思いますか	95.3%	94.1%
		1.1	1.7
(45) (49)	国語の授業の内容はよく分かりますか	89.3%	84.7%
		3.6	4.7
(46) (50)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	94.7%	90.8%
		1.9	2.1
①-2 算数（数学）に対する興味・関心や授業の理解度等：4項目の平均		83.9%	70.5%
		1.4	-2.2
(51) (55)	算数（数学）の勉強は好きですか	62.9%	51.0%
		1.5	-5.7
(52) (56)	算数（数学）の勉強は大切だと思いますか	94.9%	84.3%
		0.7	-0.7
(53) (57)	算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか	83.2%	71.8%
		2.0	-1.5
(54) (58)	算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	94.6%	75.0%
		1.3	-0.8
①-3 英語に対する興味・関心や授業の理解度等：4項目の平均		83.5%	72.8%
		3.2	0.0
(55) (59)	英語の勉強は好きですか	74.5%	49.1%
		5.2	-2.8
(56) (60)	英語の勉強は大切だと思いますか	92.5%	88.9%
		1.2	0.9
(61)	英語の授業の内容はよく分かりますか		64.8%
			0.9
(62)	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか		88.5%
			1.0
②規範意識：3項目の平均		95.9%	94.6%
		1.1	1.9
(8)	人が困っているときは、進んで助けていますか	93.8%	92.4%
		2.2	4.3
(9)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.5%	96.2%
		0.6	0.7
(11)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.5%	95.2%
		0.6	0.6

③自己有用感：3項目の平均		87.2%	80.9%
		2.3	3.0
(4)	自分には、よいところがあると思いますか	85.0%	82.6%
		1.5	2.6
(5)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	92.7%	91.2%
		2.9	3.9
(7)	将来の夢や目標を持っていますか	84.0%	68.9%
		2.5	2.6
④生活習慣：3項目の平均		91.0%	88.1%
		2.5	1.3
(1)	朝食を毎日食べていますか	95.2%	91.4%
		1.3	0.2
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	85.1%	80.5%
		4.1	2.5
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.8%	92.5%
		2.3	1.2
その他（90%を超える主な項目）			
(30)	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	96.6%	95.4%
(34)		1.5	2.1

※前年度よりも改善が見られた項目

質問項目		小学校	中学校
⑤ICTを活用した学習状況			
(29)	5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか【週3回以上】	63.5%	67.8%
(33)		1.1	6.7
(30)	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	96.6%	95.4%
(34)		1.5	2.1
(31)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）【30分以上】	44.9%	33.9%
(35)		3.8	2.7
参考：昨年度 ICTを活用した学習状況：6項目の平均			
小学校：-2.6ポイント（山梨44.8% 全国47.4%） 中学校：-1.6ポイント（山梨40.8% 全国42.4%）			

※課題が見られた項目

質問項目		小学校	中学校
⑥中学校の学習（数学・英語）に対する興味・関心や授業の理解度等			
⑥-1 数学に対する興味・関心や授業の理解度等：4項目の平均		83.9%	70.5%
		1.4	-2.2
(55)	数学の勉強は好きですか	62.9%	51.0%
		1.5	-5.7
(56)	数学の勉強は大切だと思いますか	94.9%	84.3%
		0.7	-0.7
(57)	数学の授業の内容はよく分かりますか	83.2%	71.8%
		2.0	-1.5
(58)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	94.6%	75.0%
		1.3	-0.8
⑥-2 英語に対する興味・関心や授業の理解度等：4項目の平均		43.8%	40.6%
		1.0	-1.5
(57) (63)	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	54.0%	34.4%
		1.5	-2.3
(58) (64)	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	46.5%	29.5%
		0.0	-0.5
(59) (65)	家庭学習の課題（宿題）として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか【週1回程度以上】	31.0%	20.2%
		1.5	-2.7
(69)	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか		78.3%
			-0.4
参考	学校質問紙の英語科の指導方法		
(59)	家庭学習の課題（宿題）として、児童（生徒）にPC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の学習をどの程度行わせていますか【週1回程度以上】		31.3%
			-4.2
(52)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行いましたか		81.9%
			-5.0

(2) 学校質問紙調査

※肯定的な回答の割合が比較的高い項目

質問項目		小学校	中学校
①授業改善：11項目の平均		88.4%	84.8%
		0.5	-1.0
(26)	調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	90.4%	85.5%
		1.5	-2.5
(27)	調査対象学年の児童(生徒)は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	79.7%	74.7%
		0.7	-6.9
(28)	調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	86.2%	85.5%
		-1.5	-3.3
(29)	調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	85.7%	83.1%
		2.3	-3.1
(30)	調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	86.2%	94.0%
		-5.2	-2.0
(31)	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学習指導において、児童(生徒)一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか	95.2%	90.3%
		2.1	-0.6
(32)	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	96.4%	95.2%
		2.1	1.0
(33)	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	91.0%	83.1%
		0.6	-3.9
(34)	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	89.3%	86.8%
		0.3	-0.9
(35)	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	86.3%	80.7%
		0.7	2.1
(36)	調査対象学年の児童(生徒)に対する指導に関して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか【月に数回程度以上】	86.2%	73.5%
		1.6	8.8
②生徒指導：6項目の平均		92.8%	96.0%
		1.1	0.8
(8)	調査対象学年の児童(生徒)は、熱意をもって勉強していると思いますか	91.0%	91.6%
		-0.1	2.9
(9)	調査対象学年の児童(生徒)は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	85.6%	97.5%
		-2.0	2.4
(10)	調査対象学年の児童(生徒)は、礼儀正しいと思いますか	94.0%	96.4%
		4.8	2.1
(11)	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	88.7%	95.2%
		2.2	-3.4
(12)	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	98.2%	97.6%
		1.2	1.5
(13)	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童(生徒)一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか	99.4%	97.6%
		0.5	-0.7

③教職員の資質能力の向上：3項目の平均		94.6%	94.3%
		4.1	7.8
(22)	授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	98.8%	100.0%
		0.3	5.3
(23)	児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	91.0%	91.5%
		2.2	7.7
(24)	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか（オンラインでの参加を含む）	94.0%	91.5%
		9.8	10.4
④学校運営に関する状況（ICTを活用した校務の効率化）：2項目の平均		97.6%	97.0%
		0.4	0.2
(16)	ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか	98.8%	97.6%
		0.5	-0.1
(17)	ICTを活用した校務の効率化の一環として、クラウドを活用した校務の効率化（クラウドサービスを活用した保護者への連絡や、アンケートの実施、教職員等会議のオンライン化等）に取り組んでいますか	96.4%	96.4%
		0.3	0.5

※課題が見られた項目

質問項目		小学校	中学校
⑤家庭や地域との連携等：5項目の平均		77.2%	66.2%
		-0.2	-10.1
(70)	(小) 職場見学を行っていますか【いる】	39.5%	
		-0.1	
(78)	(中) 調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか（実施しなかった以外を集計）		48.1%
			-6.0
(71)	(79) 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	87.5%	78.3%
		0.8	-4.9
(72)	(80) 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	97.0%	79.5%
		1.1	-2.6
(73)-1	(81)-1 (72) (80) の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、教員の業務負担軽減に効果がありましたか	80.9%	59.0%
		2.1	-1.7
(73)-2	(81)-2 (72) (80) の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、教員の業務負担軽減に効果がありましたか【取組を行わなかった】	0.0%	8.4%
		-0.6	5.1
(74)-1	(82)-1 コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか	80.9%	66.3%
		-5.2	-13.0
(74)-2	(82)-2 コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか【取組を行わなかった】	16.8%	25.3%
		9.2	14.2
⑥小学校教育と中学校教育の連携：3項目の平均		55.3%	52.2%
		-2.2	-10.7
(67)	(75) 前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	58.7%	55.4%
		-1.9	-11.4
(68)	(76) 前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	55.1%	59.0%
		-3.1	-8.3
(69)	(77) 令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有しましたか	52.1%	42.2%
		-1.5	-12.5

⑦ICTを活用した学習状況			
(52)	前年度に、教員が大型提示装置（プロジェクター、電子黒板など）などのICT機器を活用した授業を1クラス当たり、どの程度行いましたか【月に1回以上】	100.0%	98.8%
(60)		2.1	0.9
(53)	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	96.5%	84.3%
(61)		0.6	-7.2
(54)	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか	85.0%	85.6%
(62)		-2.4	3.1
(55)	調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか【週3回以上】	86.8%	89.1%
(63)		-3.8	2.4
(56)	調査対象学年の児童（生徒）が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか【週3回以上】	65.3%	69.9%
(64)		-4.7	5.3
(57)	調査対象学年の児童（生徒）が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか【週3回以上】	38.3%	47.0%
(65)		-7.5	2.8
(58)	教職員と調査対象学年の児童（生徒）がやりとりする場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか【週3回以上】	39.6%	48.2%
(66)		-13.5	-0.5
(59)	調査対象学年の児童（生徒）同士がやりとりする場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか【週3回以上】	29.4%	34.9%
(67)		-10.6	1.2
(60)	調査対象学年の児童（生徒）が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか【週3回以上】	36.5%	38.5%
(68)		-8.5	2.8
(61)	前年度に、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童（生徒）が学校外の施設（他の学校や社会教育施設、民間企業等）にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか【年1回以上】	56.3%	40.9%
(69)		-0.8	-9.3
(62)	教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか【どちらかといえば、活用している以上】	49.1%	63.9%
(70)		-13.7	2.3
(63)	児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレット等の端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか【利用あり】	75.5%	69.9%
(71)		-5.8	-7.0
(64)-1	児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。（1）不登校児童（生徒）に対する学習活動等の支援【週3回以上】	30.9%	43.3%
(72)-1		-8.6	0.9
(64)-2	児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。（2）特別な支援を要する児童（生徒）に対する学習活動等の支援【週3回以上】	58.0%	53.2%
(72)-2		0.5	2.5
(64)-3	児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。（3）外国人児童（生徒）に対する学習活動等の支援【週3回以上】	29.7%	27.9%
(72)-3		-10.9	-12.4
(64)-4	児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。（4）児童（生徒）の心身の状況の把握【週3回以上】	34.5%	30.1%
(72)-4		-14.3	-12.2
(64)-5	児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。（5）児童（生徒）に対するオンラインを活用した相談・支援【週3回以上】	8.6%	15.5%
(72)-5		-8.6	-2.3
(65)-1	障害のある児童（生徒）が一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用する際、入出力支援装置等を活用し、障害種・障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた支援を実施しましたか	46.7%	31.1%
(73)-1		-7.0	-20.4